

指定管理者評価シート(総括)

評価期間: 令和6年4月～令和7年3月

施設名	古賀市健康文化施設クロスパルこが	施設所管課(部・課)	教育部 生涯学習推進課
所在地	古賀市青柳町830番地1		
設置目的	市民の健康づくり、生涯スポーツ及び文化振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会実現に資するため。		
施設概要	多目的体育館、温水プール等を備え、子どもから高齢者、障がい者の健康づくり、生きがいづくりに資するための事業を実施する。		
指定管理者	西部ガス都市開発グループ事業体	指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

評価項目				自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)
1 事業計画書の内容が、利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること (手続条例第4条第1項第1号)	1 利用者の平等な利用の確保	1 施設運営のための運営方針は適切か		3	3	老若男女問わず、利用者のニーズに応じ、気軽に参加が可能な各種教室や体験会、レッスン等の事業を展開している。
		2 事業内容等に偏りがないか		3	3	利用者の求めるレベルに応じたプログラムを充実させているほか、年齢や障がいの有無を問わない事業を展開している。
		3 利用者の平等な利用が確保されているか		3	3	禁止行為や迷惑行為には、利用者からクレームが挙がるよりも前に常に監視や対応を怠らず、全ての利用者が安心安全で平等に利用できる運営に努めている。
		4 利用促進への取組内容は適切か		3	3	施設ホームページやSNSの配信、チラシ新聞折り込みやポスティング、小中学校へのチラシ配信など、多種多様な媒体を用いて広くPRを行い、世代に偏りがないよう多くの人が来館し利用されるような創意工夫がなされている。
	2 利用者へのサービス向上	1 サービス向上のための取組内容は適切か		3	3	積極的にスタッフから利用者へ声かけを行うことでニーズを汲み取り、ニーズに応じソフト・ハードの両面からより良いサービスの向上を目指し取組を進めている。
		2 利用者の意見の把握・反映の内容は適切か		3	3	ご意見箱を設置し、常時、利用者からの意見を積極的に集約している。それにより「PDCAサイクル」を実施し、管理運営に意見を反映させている。
		3 利用者からのクレームへの対応は適切か		3	3	「PDCAサイクル」を実施しスタッフ間で苦情の共有を確実に行うことで、再発防止に努めており、定例会議で市とも共有している。
		4 施設の設備等の活用の内容は適切か		3	4	プールでは市立小中学校の水泳授業の受託や、体育館での地域スポーツ大会の受け入れ、多目的室での文化活動の実施など、十分な施設活用がなされている。
		5 地域との交流のための取組内容は適切か		3	3	市立小中学校の水泳授業の受託や、市民駅伝、ウォーキングへの参加や準備体操でのスタッフの派遣など、市と積極的に連携を実施している。
	1 施設の維持管理の内容及び手法	1 施設・設備の維持管理の取組内容は適切か		3	4	法定点検、日常点検を実施し施設の維持管理に努めており、施設の維持管理を担当する(株)ファイブが常勤しているため、給水管からの漏水など突発的な修繕も運営に支障をきたすことなく即時対応した。
		2 安全管理・安全対策は適切か		3	3	安全管理マニュアルを全職員に周知しており、マニュアルに基づいた安全管理・安全対策を講じている。
	2 施設の管理運営に係る経費の内容	1 経費節減のための取組は適切か		3	3	節減により利用者へのサービス低下を招くことなく、かつ、市内小中学校水泳授業を受託しながら、長年の運営ノウハウを活かしガス使用量を3年連続前年度から削減していることが評価できる。

評価項目					自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)	
3	事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第3号)	1	収支計画の内容及びその実現性	1	収支計画と事業計画の整合は取れているか	3	3	対前年比延べ利用者数約1,000名、年度末会員数37名の増加となり評価できる。
		2	安定した運営が可能となる人的能力	1	職員の採用・確保・配置の方策は適切か	3	3	運営に支障をきたすことなく、労働基準法、労働安全衛生法、その他労働関連法令を遵守した管理運営を実施している。
				2	職員の研修体制等は十分か	3	3	従業員の資質向上、防災訓練、利用者のサービス向上等の研修を行っており、職員の研修体制を十分に図っている。
4	前3号に掲げるもののほか、公の施設の設置目的を達成するために十分な能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第4号)	1	安定した運営のための財政的基盤	1	団体の財務状況は健全か	3	3	代表企業である西部ガス都市開発㈱は様々な事業を展開しており、特に不動産事業が好調で当期収益が黒字であり、財務状況は健全と判断する。
		2	個人情報の保護措置・情報公開	1	個人情報の保護措置及び情報公開の取組内容は適切か	3	3	スタッフ採用の際に、個人情報の取扱いを説明の上、漏洩に関する誓約書を取り交わしている。また、個人情報保護研修をととし、すべての職員に対し個人情報に関する教育を定期的に実施している。
		3	類似施設の運営実績	1	類似施設や類似業務を良好に運営した実績はあるか	3	3	指定管理施設や直営店舗など複数の類似施設を展開しており、実績は十分である。類似施設間で良い事例、悪い事例を共有、参考に運営に反映させている。
5	その他	1	その他の提案・企画	1	提案・企画の内容等は適切か	3	3	事業計画に提案された取組は実施しており、インボディの無料測定会、足圧測定会、専門家を招いたウォーキング、スケート体験のイベントなど、利用者が楽しく参加でき健康づくりに役立つ新たな取組を企画している。

指定管理者のコメント(自己評価・PR等)

公の施設として『市民の健康づくり・生涯スポーツ及び文化の振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会づくり』を念頭に置き、ヘルスアップぶん、古賀市健康増進計画第2次の基本理念である『あなたが主役、みんなで広める健康づくり』を心掛け、多くの市民に活用して頂ける施設運営を行ってまいりました。今年度も利用者の性別や年齢、障がいの有無に関わらず全ての市民が公平・平等に施設を利用できるように掛けて運営にあたりました。事業計画書に沿った事業の実施、健全な財政状況の維持に努め、市民の皆様が気軽に健康づくりを始められる施設運営を行い、会員数は前年度に対し延べ550名、利用者数は計画数には達しませんでした、前年度に対し1,000名、共に増員する事が出来ました。しかしながら2期目の小中学校水泳事業の縮小や電気使用量の増加により収支は若干のマイナスとなりました。次年度は2期目の最終年度となりますので、これまでの経験ノウハウを最大限に活用しながら新たな企画提案も実施し、今後もより一層、古賀市民の皆様にも愛される施設運営に努めて参ります。

所管課のコメント

- ・全体を通して、事業計画に基づき適切に管理運営を行っていると考え。
- ・市内小中学校の水泳授業の受託は通常営業を維持しながら実施しており、市と強固に連携した取組ができており、施設のPRIにもつながった。
- ・定期的なプログラムの見直しや様々な利用促進策の実施、平日午前の利用料金の見直しや備品の更新などにより、会員数、都度利用者数ともに増加させたことは評価できる。
- ・施設は老朽化が進んでいるが、突発的な修繕も利用者の安全を確保しつつ、適切な維持管理に努めている。
- ・利用者の声には誠意に対応しており、今後もサービス向上に向けた取組を継続されることを期待する。

評価委員会のコメント

全体をとおして計画に基づき適切に管理運営が行われていると評価する。
 平時から適切な施設管理に注力されているとともに、突発的な修繕にも迅速に対応されている点を評価する。
 紹介キャンペーンの実施や九州プロレスの受け入れなど積極的に取り組まれ、施設のPRや新たな多様な利用者獲得につながった点を評価する。
 障がいのある方やあらゆる世代へのニーズに沿ったプログラムの検討やイベントの工夫、地域交流のための新たな取り組みの実施を期待する。